

多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

新型コロナウイルス感染症が引き続き流行しています。
また、施設でのインフルエンザ集団感染が報告されています。
平常時からのこまめな手洗い・手指消毒を心掛け、
有症状時にはマスク着用などの感染予防対策をしましょう。



保健所からのお知らせ

9月24日～9月30日は 「結核・呼吸器感染症予防週間」です

結核ってどんな病気？

結核は、結核菌という細菌によって、主に肺に炎症が起きる病気です。菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみによって菌が空気中に放出され、浮遊していた結核菌を周囲の人が直接吸い込んで肺の奥深くに入り込むことで感染します。多くの場合、感染しても免疫力が結核菌に勝って、症状がでる(発病する)のを防ぎます。

昔の病気じゃないの？

結核は呼吸器感染症のひとつで、昔のものと思われがちです。しかし、今も世界で毎年100万人以上が命を落としています。日本国内でも、毎年約10,000人が新たに結核を発症し、1,500人以上が結核で亡くなっています。

こんな時は結核かも！？

2週以上続く 咳・微熱・だるさ
食欲不振

体重減少
寝汗



どうやって治療をするの？ 治るの？

昔は多くの方が亡くなりました。今は薬(抗結核薬等)が開発され、きちんと薬を飲めば治ります。
重症にならないためにも、早期発見・早期治療が大切です。結核だけに限った話ではありませんが、健診を定期的に受けるようにしましょう。

高齢者は特にご注意を！

最近の日本の結核患者の傾向をみると、70歳以上の高齢者が約6割を占めています。これは、かつて結核がまん延したときに感染し、若いうちは発症が抑えられていたのが、高齢になって免疫力が落ちたことなどから発病する人が増えたと考えられます。

結核・呼吸器感染症を予防するために

